

こてはし台地区部会ニュース

《福祉の街「こてはし台」を目指して》



＜令和4年度上半期＞ ～活動状況の報告～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、地区部会の活動も大きな影響を被りました。前期の諸活動を検証し、後期の活動に生かしたいと思います。

1、ふれあい活動

「喫茶室“つどい”」・「子育てサロン」・「ふれあい食事会」を中止しました。「三世代ふれあいラジオ体操会」は、屋外の活動であり、感染対策を講じて実施することができました。11日間の開催でしたが、久しぶりに清々しい朝のひと時一同に会する場を創ることができました。参加された方、協力員さんに感謝いたします。（参加者：1,970人（内子供285人）、協力者65人）。

2、生活支援活動

「お元気確認（見守り・声かけ）」・「ご近所のたすけあい」については、一日も欠くことのできない活動です。協力員は感染対策を講じて実施することができました。皆様のご努力に感謝いたします。

3、安心カード・緊急ダイヤルメモの配付

急病、室内事故などで、意識不明で発見された時、発見者が当人の家族、知人に連絡できるよう「安心カード」・「緊急ダイヤルメモ」を75歳になられる方などを対象に民生・児童委員に届けていただきました。「安心カード」157部、「緊急ダイヤルメモ」87部。

4、広報紙の発行

社協こてはし台ニュース6月号を定期総会特集号として発行しました。

5、福祉活動推進員連絡会

8月を除く毎月土曜日に開催しました。多岐にわたる活動の推進役である福祉活動推進員が、活動報告を行い情報を共有して課題を解決し次の活動に繋げていく連絡会です。

6、「災害時安否確認」事業の一部終了

「高齢化による担い手不足に相応した体制作りのための事業内容の見直し」については、以前から検討してきた「災害時安否確認」事業を随時終了することです。

この方針のもと、今年度は自主防災体制が充実した2・6丁目については8月末日でこの事業を終了しました。関係する自主防災会、利用者、協力者には終了に至る経緯を説明し、ご理解を頂いております。

1・3・4・5丁目については、従来通り「災害時安否確認」事業を実施します。



下半期活動の取り組み

1、活動方針四つの重要項目

- (1)「全世代参加型」新規事業の検討については、年度内には福祉活動推進員を中心に検討し、取り組みの方向性を見出し、その後常任理事会で具体的な検討を行います。
- (2)「包括ケア会議」等を通じて「地域支え合いの街づくり」のより一層の推進を図ります。
- (3) 街づくりホームページの充実を図るため、まずは発信内容の見直しを行います。
- (4) 認知症や障害のある方、その家族などの居場所づくりについては、あんしんケアセンターにてはし台の協力を得て検討して参ります。
- (5)「高齢化による担い手不足等の状況に相応した体制作り」のための業務見直しについては「災害時安否確認」事業を始めとして、その他多くの活動について検討して参ります。

2、災害時安否確認訓練実施予定（11月6日（日）～11月19日（土））

—— 個人型、分散型訓練 ——

今年度は、コロナ禍のために、一昨年同様に「個人型、分散型」の訓練となります。

今年度、2・6丁目ともに当会の「災害時安否確認」事業は8月末日をもって終了しましたので、1.3.4.5丁目について「災害時安否確認訓練」を実施するものです。

訓練内容は、協力員各自が実施期間内に、担当区域の丁目連絡所、班集合場所、安否確認利用者宅の場所を確認するというもので、利用者への声かけなどはしません。この訓練は、いつ起こるかわからない災害に備えた、態勢維持の点から意義のある活動です。



3、福祉活動推進員連絡会の定例開催（1月を除く毎月第2土曜日）

「お元気確認（見守り・声かけ）」などの生活支援活動や、「喫茶室“つどい”」などのふれあい活動について情報交換や課題の抽出、活動再開の可否などについて検討して参ります。

4、千葉市社会福祉協議会会員募集 令和4年12月～5年2月

毎年度、社協会員の募集活動にご協力を頂きありがとうございます。皆様からご協力頂いた会員会費は、千葉市社会福祉協議会に納入します。その金額の70%が地区部会の運営資金として還元されます。還元された運営資金は貴重な財源として、地域福祉向上のための活動に有効活用させていただきます。今年度もご協力のほど宜しくお願いいたします。

5、広報紙の発行

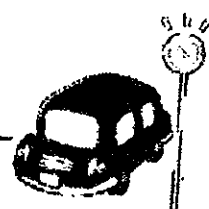
10月号の地区部会ニュースは、4頁に「福祉活動推進員の募集案内」を掲載しました。当地区部会では数多くの活動を行っています。その中心となっているのが福祉活動推進員ですが、高齢化で退任される方が多くなっています。地域の福祉活動を末永く続けていくために、福祉活動推進員になっていただける方を探している状況です。募集案内をご覧いただき、お手伝い下さる方のご一報、心からお待ちいたしております。ご協力よろしくお願い申し上げます。

（次回の社協地区部会ニュースは、1月号（新年号）を発行する予定です）

こてはし台地区地域ケア会議報告
「介護事業所車両の駐車スペース」について

日時：令和4年6月23日（木）13：30～15：00

場所：こてはし台自治会館



〈これまでの経緯〉

あんしんケアセンターこてはし台圏域内の、居宅介護支援事業所所属の主任ケアマネジャー（花見の里、最成病院、ケアサポート一輪荘）と共に地域の課題について協議して、介護サービス事業所等が訪問した際の駐車スペースの問題に取り組む事になりました。

前年度のケア会議では、この課題を参加者が共有し、具体策などが議論されましたが、引き続き検討する事になり、令和4年度第一回のケア会議で以下のとおり検討されました。

—令和4年度のケア会議報告—

〈参加者〉

こてはし台自治会、206 地区民生委員児童委員会長、市社会福祉協議会花見川区事務所、社協こてはし台地区部会、（有）こてはし住販、（有）大日総業、最成病院居宅介護支援室、居宅介護支援センター花見の里、あんしんケアセンターこてはし台 計15名

〈会議の内容〉

具体的な提案事項をもとに、課題解決に向けた取り組みについての意見交換を行った。

提案事項1 「個人宅や不動産屋が管理している空き駐車場を活用」

- ・駐車場シェアリングサービスを行っている企業はあるが、登録等の手続きが難しい。
- ・不動産業者から駐車場のオーナーに対して、貸し出しの働きかけは難しい。
- ・居宅介護支援事業所が駐車するとなった場合には細かいマニュアルを作成する必要がある。

提案事項2 「こてはし台共通ステッカーを作成して、ステッカーへの理解を得、普及する」

- ・現状では個人が作った事業所名入りのステッカーをダッシュボードに置くことが多い。
- ・共通ステッカーにはこてはし台自治会の認証を明記しても良いのではないか。
- ・ステッカーを使用することによる防犯面でのメリットもある。

その他の意見等

- ・自治会や丁目ニュースで、介護車両の問題を地域の皆さんにご理解いただいては？。
- ・長時間に及ぶ駐車のため、駐禁切符を切られてしまうことがあるのではないか。
- ・事業所が自ら駐車できるスペースについて調べる必要がある。
- ・他地区の取り組み事例について調べて参考にすることも大事な事では。などなど。

〈今後の取り組み〉

上記の検討内容から、当面は下記のとおり対応していく。

- ☆各事業所に対し、ダッシュボードに事業所名・連絡先の掲示を徹底する。
- ☆自治会の広報などで、介護車両の駐車問題について理解深めていただく。
- ☆あんしんケアセンターこてはし台は、関係機関にケア会議の内容を報告し周知する。また、地域にお住まいの方に対する広報資料の作成を行う。

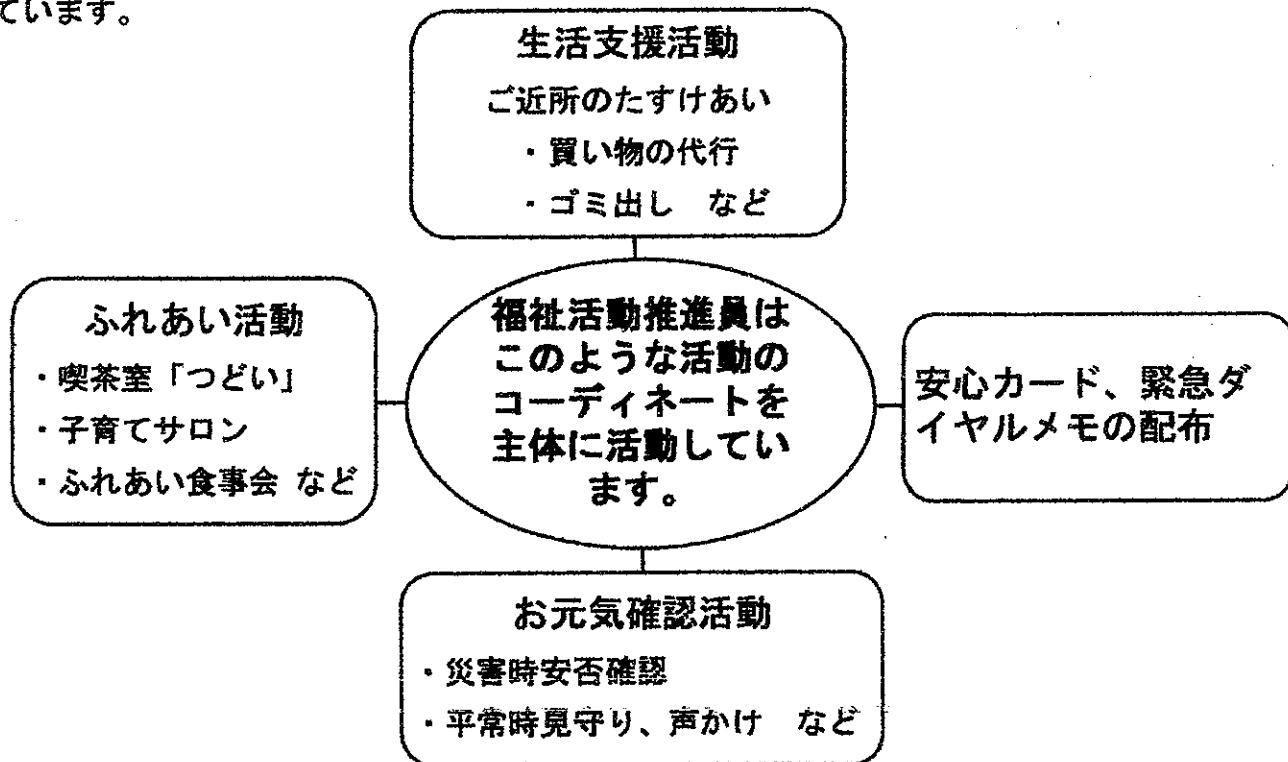




募 集 !

社会福祉協議会 福祉活動推進員 (略称 福推)

こてはし台地区部会では現在 20 名の福祉活動推進員が地域の福祉の向上のために積極的に活動しています。



上記のような活動をしている福祉活動推進員も、ご他聞に漏れず高齢化が進み、退任する方が多くなってきました。

当地区部会では、地域の福祉活動を末永く続けるために無くてはならない福祉活動推進員になってくださる方を探しています。

このような現状を理解してお手伝い下さる方、ぜひご一報ください。

<連絡先> こてはし台地区部会長 齋藤 郷 (259-5961)

1丁目福祉活動推進員 工藤 悦子 (257-5835)

2丁目福祉活動推進員 井田 耀子 (250-6374)

3丁目福祉活動推進員 旭 元江 (257-9739)

4丁目福祉活動推進員 小林キクノ (259-8759)

5丁目福祉活動推進員 中嶋 順子 (257-9237)

6丁目福祉活動推進員 中沢実智子 (250-2583)

「みんなが住みよい街」を目指して
一緒に活動しましょう!

編 集 後 記



喫茶室「つどい」が、コロナ感染防止のため開催できなくなって3年近くが過ぎました。最近、「友達と会ったり、おしゃべりしたりする場所が欲しい」とか、「みんなで貯筋体操をまたやりたいな」となどという声がちらほら聞こえてきます。私たち、社協のメンバーも同じ気持ちです。すぐには無理でも、いずれ近いうちに再開してみなさんと楽しい時間を過ごせる日を心待ちにしております。

(編集人 : 齋藤 郷 三嶋 翠)